

射水市教育委員会 9 月定例会次第

日 時 平成 26 年 9 月 24 日(水)

午前 9 時 3 0 分 学校訪問 大門中学校

午前 1 1 時 会議 大門中学校 2 階会議室

1 会議録の承認

2 教育長の報告

(1) 平成 2 6 年 9 月議会開催状況について 資料 1

3 議案

(1) 指定管理者の名称等の変更について(生涯学習・スポーツ課) 資料 2

4 各課等の連絡事項及び報告事項

(1) 平成 2 6 年度 全国学力・学習状況調査における射水市の結果について
(学校教育課) 資料 3

(2) カニ学校給食の実施について (学校教育課) 資料 4

(3) 指定管理者の募集について (生涯学習・スポーツ課) 資料 5

(4) 「放生津八幡宮祭の曳山行事」 富山県無形民俗文化財の指定について
(生涯学習・スポーツ課) 資料 6

(5) 富山マラソン 2015 プレイベント 射水海王丸マラソン 2 0 1 4 の取組状況について
(生涯学習・スポーツ課) 資料 7

(6) 教育委員会行事予定 資料 8

5 その他

※ 次回教育委員会の開催日時について

月 日 () 時 分 学校訪問

平成26年9月議会開催状況について

1 教育委員会関係議案

議案第66号 平成26年度射水市一般会計補正予算(第3号)

議案第81号 射水市教科用図書採択協議会条例の制定について

2 代表質問、一般質問(教育委員会関係)

(1) 代表質問 9月10日(水)

○ 高橋久和議員(自民議員会)

1 全国学力・学習状況調査の結果について

(1) 今年の全国学力テストの結果について

(2) 土曜授業及び土曜学習について

○ 高橋賢治議員(市民同志会)

1 家庭教育支援の充実について

2 不登校児童生徒について

(2) 一般質問 9月11日(木)

○ 瀧田孝吉議員(自民議員会)

1 公園、小学校等の遊具、ベンチについて

○ 古城克實議員(市民同志会)

1 子ども条例の再啓発について

3 予算特別委員会 9月12日(金)、9月18日(木)

9月12日(金)

○ 竹内美津子 委員(自民議員会)

1 道徳教育について

9月18日(木)

○ 小島啓子 委員

1 不登校児童生徒の現状と対策について

(1) 平成26年度の現状について

(2) 不登校の期間について

(3) 今後の対応策について

- 2 「じいちゃんばあちゃんの孫育て談義」事業について
- (1)事業の現状について
 - (2)孫育て応援ブックについて

4 総務文教常任委員会 9月16日(火)

- 議案第81号 射水市教科用図書採択協議会条例の制定について
- 報告事項 射水市奨学資金に関するアンケート調査結果について
- 報告事項 平成26年度教育に関する事務の点検・評価報告書
- 報告事項 平成26年度 全国学力・学習状況調査結果について

議案第 15 号

指定管理者の名称等の変更について

射水市大島体育館、大島勤労者体育センター、大島弓道場の指定管理者の名称等を次のように変更する。

平成 26 年 9 月 24 日 提 出

射水市教育委員会

教育長 結 城 正 斉

射水市教育委員会告示第 7 号

指定管理者の代表者の変更について

次のとおり指定管理者の代表者の変更があったので、射水市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に関する条例（平成 18 年射水市条例第 3 号）第 13 条の規定により告示する。

- 1 指定管理者が管理を行う公の施設の名称
射水市大島体育館、大島勤労者体育センター、大島弓道場
- 2 指定管理者の名称
特定非営利活動法人おおしまスポーツクラブ
- 3 変更前の代表者
理事長 小島 敏敬
- 4 変更後の代表者
理事長 島上 淳
- 5 変更年月日
平成 26 年 6 月 13 日

「平成26年度 全国学力・学習状況調査」

における射水市の結果について

平成26年 9月24日(水)

射水市教育委員会

1 学力調査の平均正答率

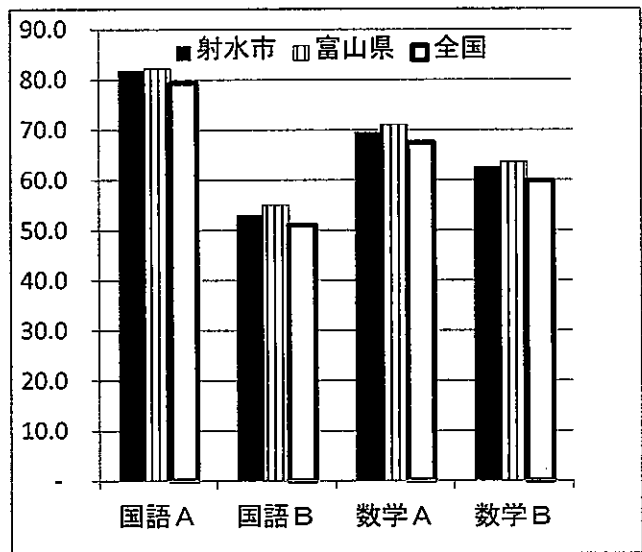
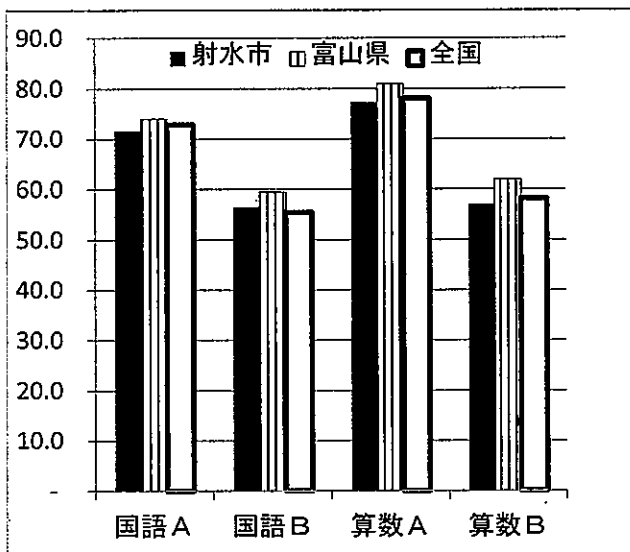
【単位%】

	小学校			
	国語A	国語B	算数A	算数B
射水市	71.7	56.6	77.3	57.1
富山県	74.1	59.5	81.0	62.0
全国	72.9	55.5	78.1	58.2

(射水市参加校 全15校、参加児童数904名)

	中学校			
	国語A	国語B	数学A	数学B
射水市	81.9	53.2	69.6	62.6
富山県	82.3	55.1	71.1	63.6
全国	79.4	51.0	67.4	59.8

(射水市参加校 全6校、参加生徒数869名)



【小学校】

- ・ 主として、知識（A）については、国語、算数ともに全国と富山県の平均値を0.8ポイントから3.7ポイント下回った。
- ・ 主として、活用（B）については、国語で、全国の平均値を1.1ポイント上回ったが富山県の平均値を2.9ポイント下回った。算数では、全国の平均値を1.1ポイント下回り、富山県の平均値を4.9ポイント下回った。

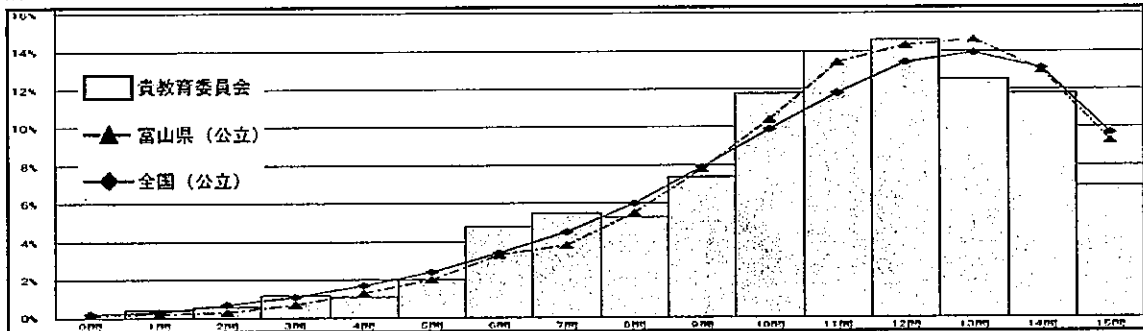
【中学校】

- ・ 主として、知識（A）については、国語、数学ともに全国の平均値を2.2ポイントから2.5ポイント上回った。しかし、富山県の平均値を0.4ポイントから1.5ポイント下回った。
- ・ 主として、活用（B）については、国語、数学ともに、全国の平均値を2.2ポイントから2.8ポイント上回った。しかし、富山県の平均値を1.0ポイントから1.9ポイント下回った。

2 教科に関する結果の概況及び考察

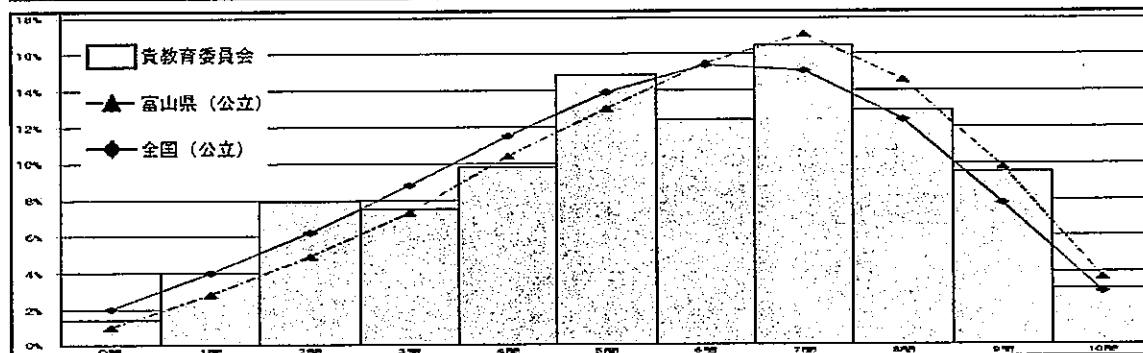
小学校国語A 【平均正答率：◎ 県以上 ○ 全国以上 △ 全国未満】

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		15	△ 71.7	74.1	72.9
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	△ 71.6	75.1	72.4
	書くこと	3	△ 71.1	74.7	72.2
	読むこと	2	△ 65.3	68.8	68.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	12	△ 72.8	74.9	73.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	△ 71.6	75.1	72.4
	書く能力	3	△ 71.1	74.7	72.2
	読む能力	2	△ 65.3	68.8	68.5
	言語についての知識・理解・技能	12	△ 72.8	74.9	73.7
問題形式	選択式	7	△ 63.8	66.8	66.6
	短答式	8	△ 78.5	80.5	78.5
	記述式	0			



小学校国語B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		10	○ 56.6	59.5	55.5
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	△ 51.0	54.0	51.2
	書くこと	3	○ 39.4	41.6	34.4
	読むこと	7	○ 59.0	61.9	57.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	2	○ 70.1	72.8	69.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	○ 39.4	41.6	34.4
	話す・聞く能力	3	△ 51.0	54.0	51.2
	書く能力	3	○ 39.4	41.6	34.4
	読む能力	7	○ 59.0	61.9	57.3
	言語についての知識・理解・技能	2	○ 70.1	72.8	69.8
問題形式	選択式	4	△ 61.7	64.4	62.1
	短答式	3	△ 67.1	71.0	67.7
	記述式	3	○ 39.4	41.6	34.4



小学校国語

<p>結果の概要</p>	<p>○ 国語 B では、総点において全国平均を 1.1 % 上回っており、領域等・観点別においても全国平均を上回っている項目が多い。また、国 A、B 両方において、全ての領域等・観点における無回答率は全国を下回っており、問題への取組に前向きな姿がうかがえる。 ● 国語 A では、ほぼ全ての領域等・観点において平均正答率が、全国に対しては 0.8 ~ 3.2 %、県平均に対しては 2.0 ~ 3.6 % 下回っている。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○ 「言語についての知識・理解・技能」の領域において、「仮定の表現として、適切なものを捉える」(設問 6 二) で 82.5 %、「国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する」(設問 8) で 75.1 % という正答率であった。 ● 「勢い」の読み(設問 1 一(3))、「祝う」の書き取り(設問 1 二(2))等、送り仮名を伴う和語の読み書きに落ち込みが見られる。故事成語の使い方の三択問題(設問 2 一)(設問 2 二)において、正答率が 52.0 % と 43.5 % にとどまり、2 問とも全国平均を大きく下回っている。</p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○ 「読むこと」「書くこと」の領域を合わせた、「二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く」(設問 3 三) で、正答率が 58.7 % となり、全国平均よりも 10.6 % 上回っている。 ● 「話す・聞くこと」の領域における正答率が 51.0 % となり、全国を 0.2 %、県を 3 % 下回っている。具体的には、話合いの観点を整理する問題(設問 1 一)で、全国を 2.1 %、質問の意図を捉える問題(設問 1 二)で 2.0 % 下回るなど、本領域での課題が見える。</p>

問題文と解答欄のイメージ

○ 勢い
○ 祝う

問題文: 「勢い」の読みを答えよ。
解答欄: 勢い(せい)

問題文: 「祝う」の書き取りを答えよ。
解答欄: 祝う(いわ)

(● A 設問 2 二 正答率 43.5 %)

問題文と解答欄のイメージ

○ A 設問 6 二

問題文: 仮定の表現として、適切なものを捉えよ。
解答欄: なるのだったら

(○ A 設問 6 二 正答率 82.5 %)

問題文と解答欄のイメージ

○ B 設問 1 二

問題文: 話合いの観点を整理する問題。
解答欄: 話合いの観点を整理する

(● B 設問 1 二 正答率 58.2 %)

問題文と解答欄のイメージ

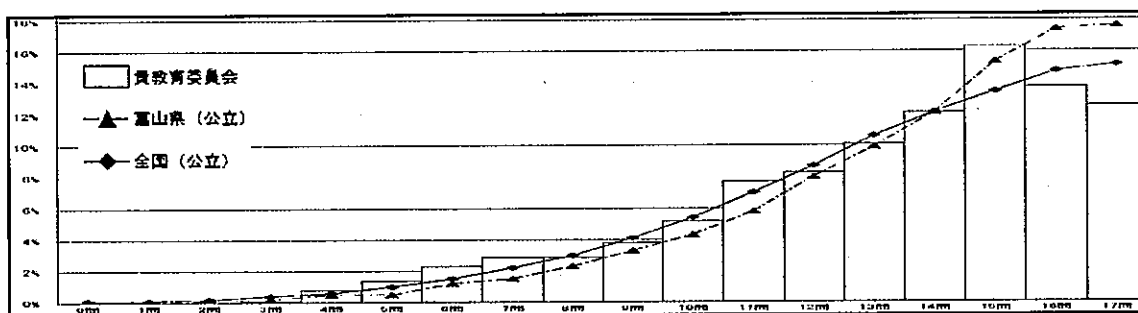
○ B 設問 3 三

問題文: 二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く。
解答欄: 二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く

(○ B 設問 3 三 正答率 58.7 %)

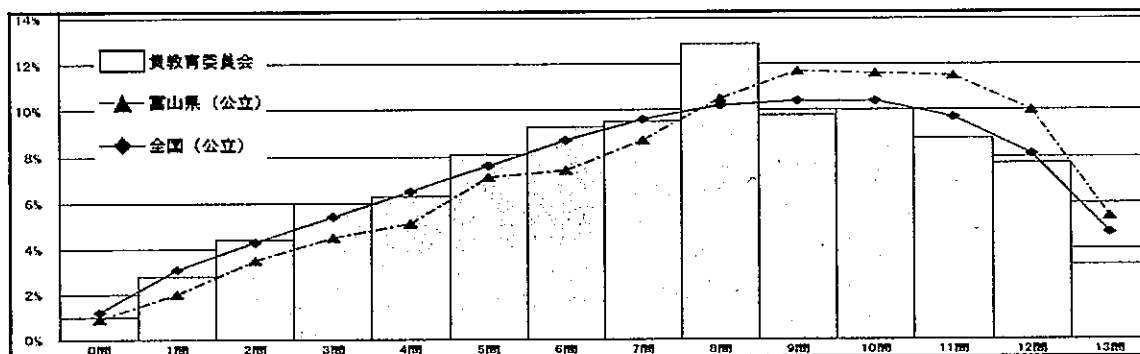
小学校算数 A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			負教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		17	△ 77.3	81.0	78.1
学習指導要領の領域	数と計算	8	○ 82.5	85.1	81.8
	量と測定	3	△ 71.8	77.6	74.8
	図形	4	△ 69.3	73.9	71.8
	数量関係	3	○ 81.5	84.5	81.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	8	△ 87.5	90.1	87.9
	数量や図形についての知識・理解	9	△ 68.2	73.0	69.5
問題形式	選択式	8	△ 70.1	74.0	70.7
	短答式	9	△ 83.6	87.3	84.8
	記述式	0			



小学校算数 B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			負教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		13	△ 57.1	62.0	58.2
学習指導要領の領域	数と計算	8	△ 60.0	64.5	61.3
	量と測定	5	△ 56.2	60.7	56.5
	図形	1	△ 64.7	71.0	65.7
	数量関係	5	△ 55.3	60.9	56.2
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	6	△ 46.5	52.1	47.8
	数量や図形についての技能	4	△ 75.4	78.5	76.2
	数量や図形についての知識・理解	3	△ 53.9	59.7	54.8
問題形式	選択式	4	△ 64.1	68.5	64.7
	短答式	4	△ 61.4	65.3	62.2
	記述式	5	△ 48.1	54.1	49.7



小学校算数

<p>結果の概要</p>	<p>○算数Aの「数と計算」、「数量関係」の領域においては、平均正答率は全国を0.2～0.8%上回っている。無解答率は概ね全国を下回っている。 ●算数Aの「量と測定」、「図形」、算数Bの全ての領域においては、全国を2.5～3.2%下回っている。観点、問題形式における平均正答率は全国を0.4～1.6%下回っている。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○「数と計算」の領域では、平均正答率が82.5%、「数量関係」の領域では、平均正答率が81.5%となっており、概ね計算力がついているといえる。(設問9) ●「図形」の領域では、4問中2問が全国の平均正答率を4～5%下回っている。特に、平行四辺形の作図の問題では、平均正答率が50.9%にとどまっている。(設問6) 「量と測定」の領域では、単位量当たりの問題が平均正答率が55.5%で全国を約5%下回っている。(設問4(2))</p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○「数と計算」の領域では、かけ算の筆算の問題で94.7%、何倍かを求める問題で83.2%、グラフの活用の問題で64.5%の平均正答率で全国を上回った。「量と測定」の領域では全体と部分の関係を問う問題で64.5%で全国平均正答率を上回った。(設問2(3)) ●「量と測定」の領域では、量の大小を判断しその理由を説明する問題の平均正答率が28.2%にとどまっている。「数量関係」の領域の小数倍の長さの求め方を説明する設問の平均正答率は31.7%となっており、全国の平均正答率より1.3%下回っている。両者とも記述形式の問題である。(設問3(3)設問5(3))</p>

9 正五角形の1辺の長さを1cm、2cm、3cm、...と変えたときのまわりの長さを調べ、下の表にまとめました。

1辺の長さ(1cm)	1	2	3	4	5
まわりの長さ(1cm)	5	10	15	20	25

1辺の長さを1cm、まわりの長さを△cmとして、□と△の関係を正しく表している式を、次の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 $\Delta + 5 = \square$ 3 $\Delta \times 5 = \square$
2 $\square + 5 = \Delta$ 4 $\square \times 5 = \Delta$

(○ A設問9 平均正答率 82.5%)

6 下の平行四辺形ABCDをよこすよこすに折ると、下の図のようになる。このとき、∠Aの大きさを求めなさい。

1 下の図のように折ると、∠Aの大きさを求めなさい。

2 下の図のように折ると、∠Aの大きさを求めなさい。

3 下の図のように折ると、∠Aの大きさを求めなさい。

4 下の図のように折ると、∠Aの大きさを求めなさい。

(● A設問6 平均正答率 50.9%)

15) あこちゃんは今7月の自分の読書量が1年間の読書量の $\frac{1}{4}$ より多いことを説明します。下の1から4までのどのグラフを見ても、あこちゃんのことでは、1つ選んで、その番号を書きなさい。

1 棒グラフ 2 棒グラフ

3 折れ線グラフ 4 折れ線グラフ

(○ B設問2(3) 平均正答率 64.5%)

3) まことさんの発表を聞いて、なつさんは球のほしを買に行こうかと思いました。

なつさんは一あたの長さについてさらに調べ、下のことがわかりました。

—一あたは、身長約10%の長さです。

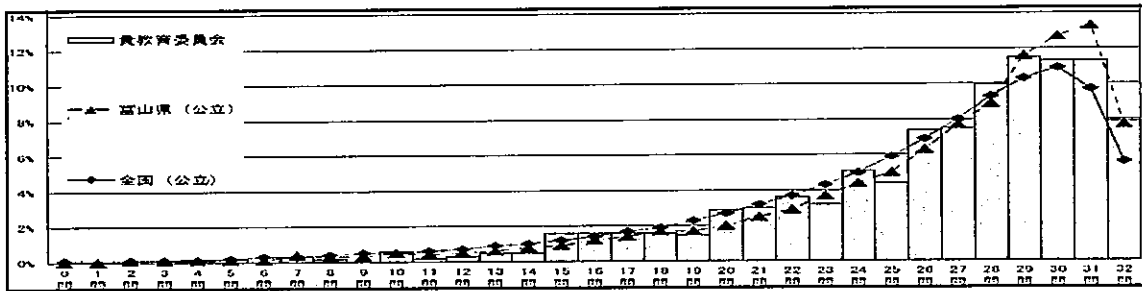
球の身長は140cmです。

球の身長と、元のほしやすしいほしの長さのめやすをもとに、一あたの長さを求めると、ほしの長さは約9cmになりますが、求め方を言葉や式を使って書きなさい。また、答えも書きなさい。

(● B設問5(3) 平均正答率 31.7%)

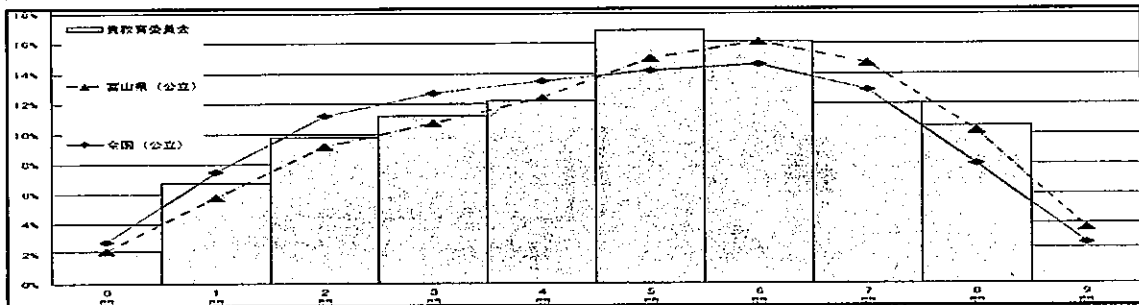
中学校国語A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		32	○ 81.9	82.3	79.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	○ 74.6	75.5	72.3
	書くこと	6	○ 84.8	85.4	83.4
	読むこと	5	○ 84.0	84.7	82.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	○ 81.9	82.2	78.7
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	○ 74.6	75.5	72.3
	書く能力	6	○ 84.8	85.4	83.4
	読む能力	5	○ 84.0	84.7	82.9
	言語についての知識・理解・技能	17	○ 81.9	82.2	78.7
問題形式	選択式	20	○ 85.2	85.6	83.2
	短答式	12	○ 76.3	76.9	73.1
	記述式	0			



中学校国語B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		9	○ 53.2	55.1	51.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	3	○ 44.3	46.5	41.0
	読むこと	8	○ 51.4	53.6	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	○ 59.8	60.5	56.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	○ 44.3	46.5	41.0
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	3	○ 44.3	46.5	41.0
	読む能力	8	○ 51.4	53.6	49.2
問題形式	言語についての知識・理解・技能	4	○ 59.8	60.5	56.8
	選択式	6	○ 57.7	59.4	55.9
	短答式	0			
	記述式	3	○ 44.3	46.5	41.0



中学校国語

<p>結果の概要</p>	<p>○国語A、Bともに、全ての領域、観点、問題形式における平均正答率は、全国を1.1～3.3%上回っている。 ●全ての領域、観点、問題形式における平均正答率は、県平均より国語Aでは0.3～0.9%、国語Bでは0.7～2.2%下回っている。問題の形式では、記述式の平均正答率が44.3%であった。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○「書くこと」の領域においては84.8%、「読むこと」の領域においては84.0%の正答率であった。特に、「語句や文の使い方に注意して、伝えたい心情にふさわしい言葉に書き換える」(設問2二)や「登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」(設問3一)では、県平均を1.8～2.2%上回っている。 ●「話すこと・聞くこと」の領域の「互いの発言を検討して共通点や相違点を整理する」の正答率は55.2%にとどまり、無解答率も4.1%であった。(設問6一)「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の「辞書を活用して、語句の意味を適切に書く」では、正答率は61.2%、無解答率は8.7%であった。(設問8四)</p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○「書くこと」の領域の平均正答率は、全国と比べて3.3%高い。「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の「表現の技法について理解する」(設問1一)や「書くこと・読むこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の複合問題の「落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書く」(設問3三)では、県平均を上回っている。 ●「書くこと」「読むこと」の領域の平均正答率は、いずれも全国より高い。しかし、「複数の資料を比較して読み、目的に応じてそれぞれの要旨を捉える」の正答率は33.1%であった。(設問2一)また、「目的に応じて適切な情報を得て、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く」の正答率は28.2%、無解答率も13.2%であった。(設問2三)</p>

「黒板」にある相違点の欄の□に当てはまる言葉を、おぼろぎさんの発言の中にも言葉を使って、六字以内で書きなさい。

題名の読補について

おぼろぎさん (男)

おぼろぎさん (女)

おぼろぎさん (男)

(●A設問6一 正答率55.2%)

心のこほり

おぼろぎさん (男)

おぼろぎさん (女)

おぼろぎさん (男)

(○A設問2二 正答率84.1%)

言葉の活用

おぼろぎさん (男)

おぼろぎさん (女)

おぼろぎさん (男)

(●B設問2三 正答率28.2%)

言葉の活用

おぼろぎさん (男)

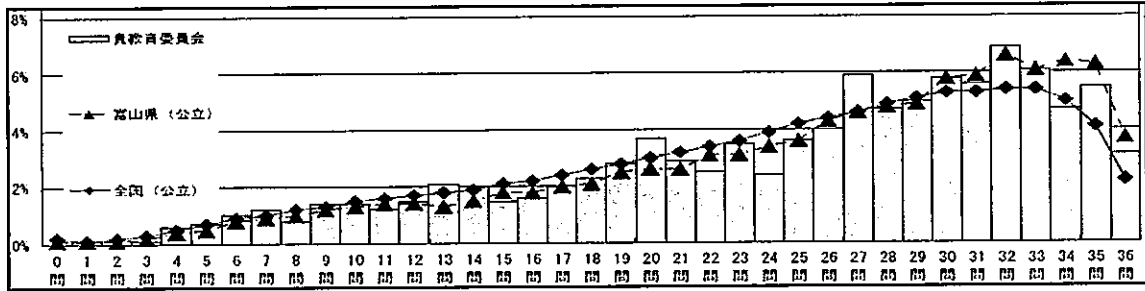
おぼろぎさん (女)

おぼろぎさん (男)

(○B設問1一 正答率67.7%)

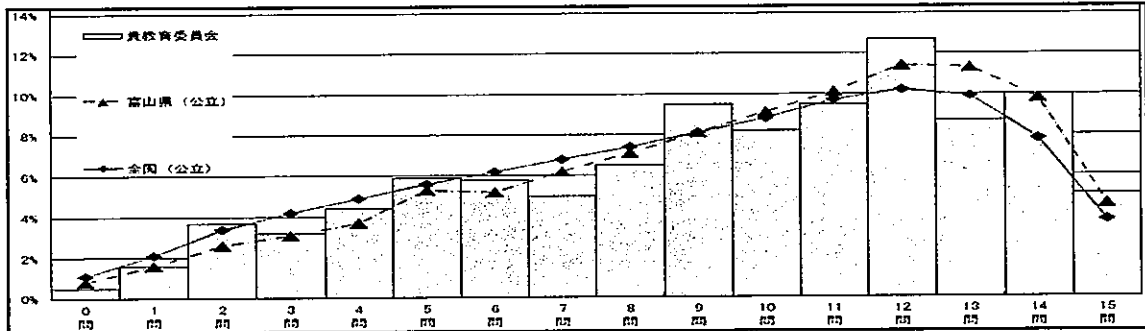
中学校数学A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		36	○ 69.6	71.1	67.4
学習指導要領の領域	数と式	12	○ 80.4	81.0	77.4
	図形	12	○ 68.2	69.5	66.4
	関数	8	○ 59.1	61.6	58.0
	資料の活用	4	○ 62.6	65.5	59.1
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	15	○ 70.6	71.9	68.2
	数量や図形などについての知識・理解	21	○ 68.9	70.6	66.8
問題形式	選択式	18	○ 66.3	68.2	64.4
	短答式	18	○ 72.9	74.0	70.4
	記述式	0			



中学校数学B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			貴教育委員会	富山県(公立)	全国(公立)
全体		15	○ 62.6	63.6	59.8
学習指導要領の領域	数と式	3	◎ 58.9	58.6	56.9
	図形	5	○ 61.3	61.8	58.6
	関数	5	○ 67.8	70.2	64.4
	資料の活用	2	○ 58.4	59.3	55.9
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	14	○ 60.8	61.7	57.9
	数学的な技能	0			
	数量や図形などについての知識・理解	1	○ 88.5	89.9	87.5
問題形式	選択式	3	○ 85.0	86.5	83.2
	短答式	6	○ 65.3	66.6	63.3
	記述式	6	○ 48.7	49.0	44.8



中学校数学

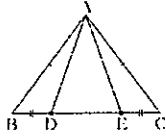
<p>結果の概要</p>	<p>○数学A、Bともに、全ての領域、観点、問題形式における平均正答率は、全国を1.1～3.9%上回っている。特に、Bでは「数と式」の領域の平均正答率が県を0.3%上回っている。 ●数学Aの全ての領域、観点、問題形式における平均正答率は、県を下回っている。特に、「資料の整理」の領域における平均正答率は2.9%下回っている。Bは「数と式」の領域を除いて、平均正答率が県を下回っている。特に、「関数」の領域における平均正答率は、県を2.4%下回っている。</p>
<p>A 主として 「知識」</p>	<p>○「数と式」の領域においては、80.4%、「数学的な技能」の観点においては、70.6%の平均正答率で、基礎・基本の定着が見られる。「図形」の領域における、証明の方針を立てる問題は正答率が80.4%であり全国よりも4.6%上回っている。(設問8) ●「関数」の領域においては、全国より正答率が3つの問題で下回っている。特に、関数関係を「…は…の関数である」と表現する問題においては、正答率が35.0%であり、全国より2.0%下回っている。(設問9) 「図形」の領域においては、与えられた角が回転移動した後の角を選ぶ問題においては、正答率が39.8%である。 「資料の活用」の領域においては、確率の問題が2題とも全国の正答率を下回っている。</p>
<p>B 主として 「活用」</p>	<p>○「図形」の領域における証明の問題は正答率が46.1%であり、全国よりも6.7%上回っている。(設問4(1)) 「数と式」の領域における問題は、3題中2題の問題で正答率が県を上回っている。 ●「図形」領域の角度を求める問題の正答率は23.8%にとどまっている。「関数」領域の、兄の速さを求める方法を説明する問題は、全国より3.1%上回っているが、正答率が33.0%にとどまっている。(設問6(3))</p>

ADとAEをそれぞれ1辺とする2つの三角形に着目すると、次のような証明の方針を立てることができます。下の①、②に当てはまる三角形を書きなさい。

証明の方針

◇ AD=AEを証明するためには、
① = ② を示せばよい。

◇ ① と ② の辺や角について、等しいといえるものを探せばよい。まず、仮定から、
AB=AC、BD=CEがいえる。



◇ ◇ を使くと、① の ① = ② が示せそうだ。

(○A設問8 正答率 80.4%)

下の表は、ある運送会社の青紙の宅配サービスの料金表です。

重量	100gまで	250gまで	500gまで	1kgまで
料金	150円	190円	270円	320円

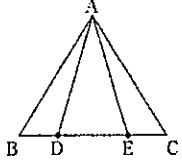
このサービスで送る青紙の重量は1kgまでです。

このとき、1kgまでの青紙の重量と料金について、「重量を決めると、それにもなると料金がたまたま決まる」という関係があります。下線を、次のように表すとき、① と ② に当てはまる言葉を書きなさい。

① は ② の関数である。

(●A設問9 正答率 35.0%)

下の図のように、AB=ACの二等辺三角形ABCの辺BC上にBD=CEとなる点D、点Eをそれぞれとります。

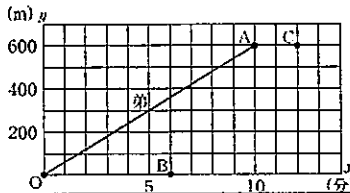


次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(1) AD=AEとなることを証明しなさい。

(○B設問4(1) 正答率 46.1%)

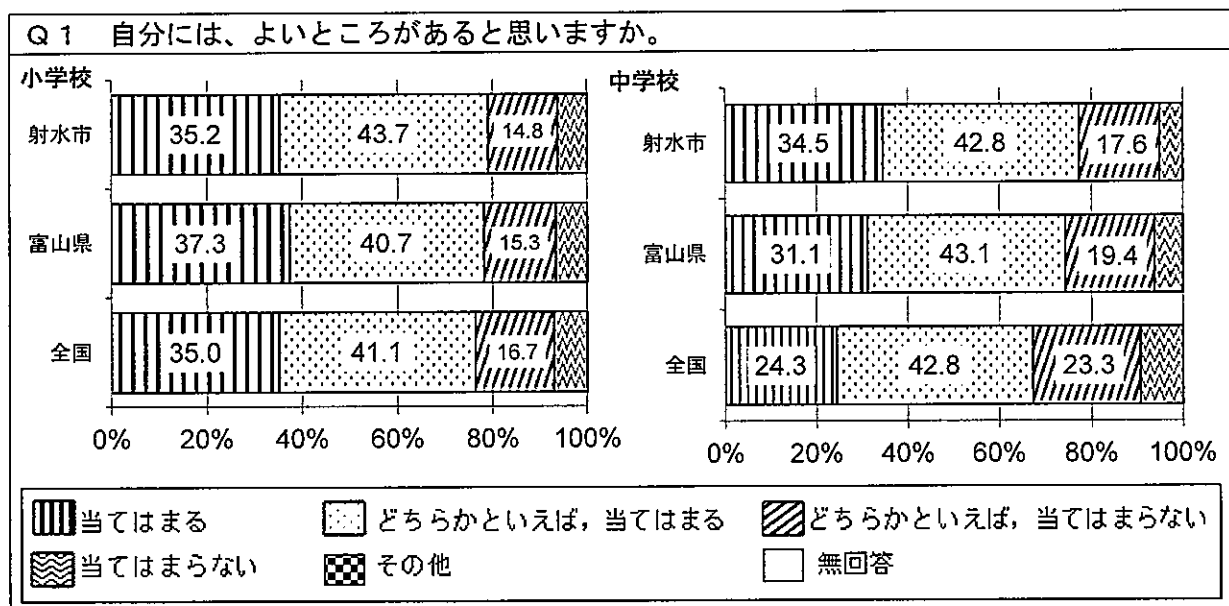
(3) 兄の速さを変えれば、出発する時間を変えなくても、弟が駅に着いたときに、ちょうど兄が弟に追いつくことができます。このような状況をグラフに表すには、弟と兄の進むようすの4点O、A、B、Cのうち、どの2点を結べばよいですか。その2点を書きなさい。また、その2点を結んだグラフから兄の速さを求める方法を説明しなさい。ただし、実際に兄の速さを求める必要はありません。



(●B設問6(3) 正答率 33.0%)

3 質問紙調査に関する結果の状況及び考察

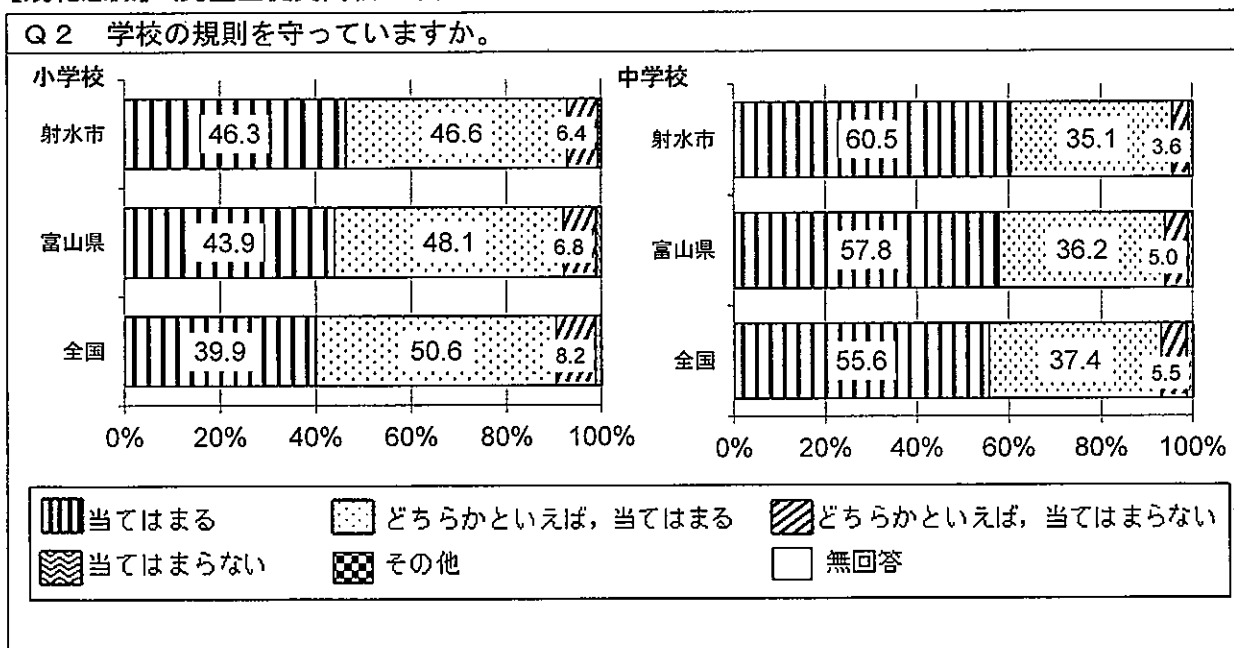
【自尊感情】（児童生徒質問紙より）



【考察】小学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」児童の割合は、全国平均より2.8ポイント高く、県平均についても0.9ポイント高い。中学校で「当てはまる」生徒の割合は、全国平均に比べ10.2ポイント高く、県平均についても3.4ポイント高い。

小中学校とも比較的高い割合であり、いじめ対策の一つとして市を挙げて自尊感情を育てる取組をしてきた成果の表れと考えられる。今後とも「自己存在感」「共感的な人間関係」「自己決定」の充実を図っていくことが大切である。

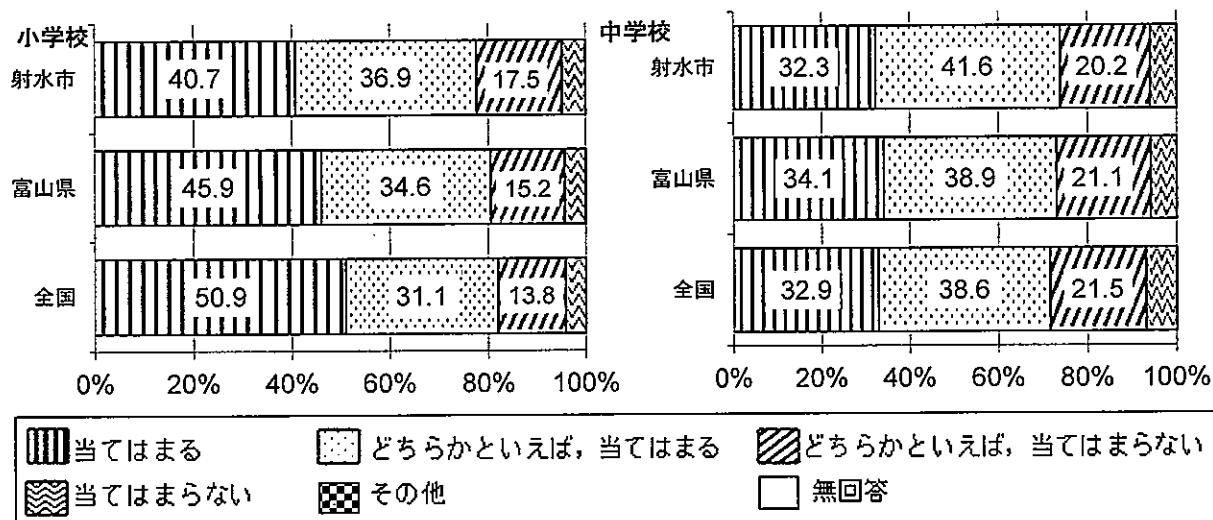
【規範意識】（児童生徒質問紙より）



【考察】小学校で「当てはまる」児童の割合は、全国平均より6.4ポイント高く、県平均についても2.4ポイント高い。また、中学校で「当てはまる」生徒の割合は、全国平均より4.9ポイント高く、県平均についても2.7ポイント高い。小中学校とも学校生活上の規範意識が比較的高いと言える。

【授業】（児童生徒質問紙より）

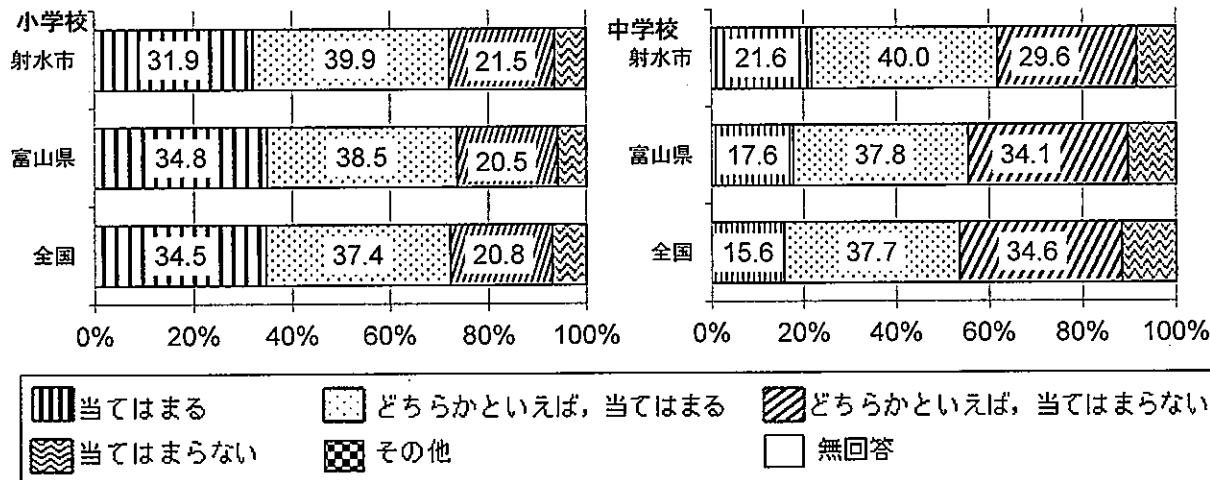
Q3 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。



【考察】小学校で「当てはまる」児童の割合は、全国平均に比べ10.2ポイント低く、県平均についても5.2ポイント低い。しかし、小学校学校質問紙の「目標を示す活動をよく行った」本市の割合は80ポイントに達しており、児童と教師の間に意識の差が見られる。目標の示し方の見直しが必要である。中学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」生徒の割合は、全国平均に比べ2.4ポイント高く、県平均についても0.9ポイント高い。さらに指導を継続していきたい。

【授業】（児童生徒質問紙より）

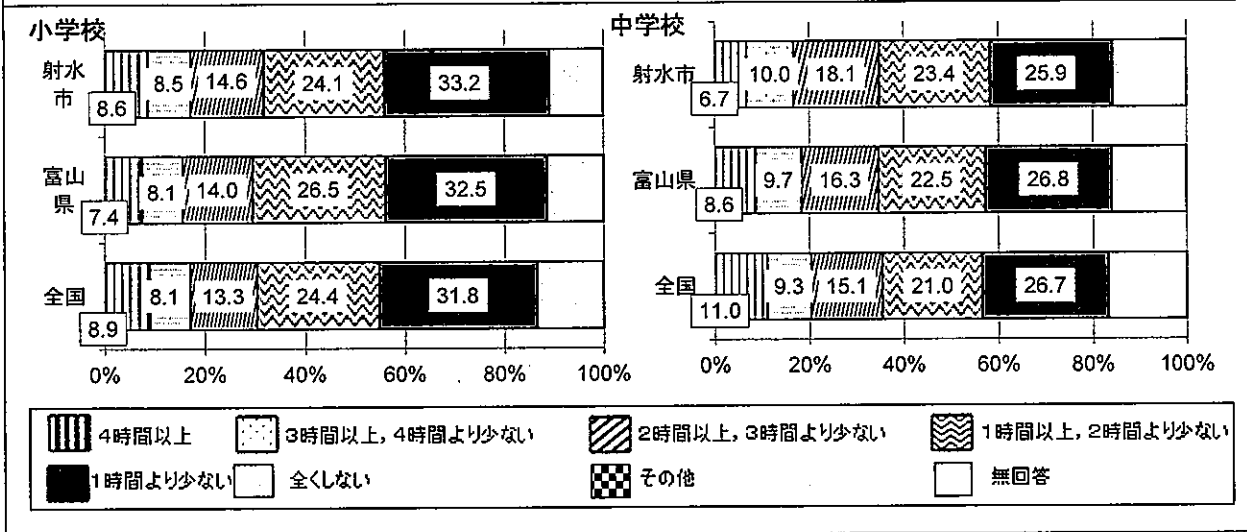
Q4 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。



【考察】小学校で「当てはまる」児童の割合は、全国平均より2.6ポイント低く、県平均についても2.9ポイント低い。中学校で「当てはまる」生徒の割合は、全国平均より6.0ポイント高く、県平均についても4.0ポイント高い。小中学校とも、授業の最後の振り返りは、授業のはじめの目標提示より「行っていたと思う」割合が低い結果となった。毎日の授業において、振り返る活動を確実にを行う教師の授業改善が不可欠である。特に小学生には丁寧な振り返りが求められる。

【生活習慣】（児童生徒質問紙より）

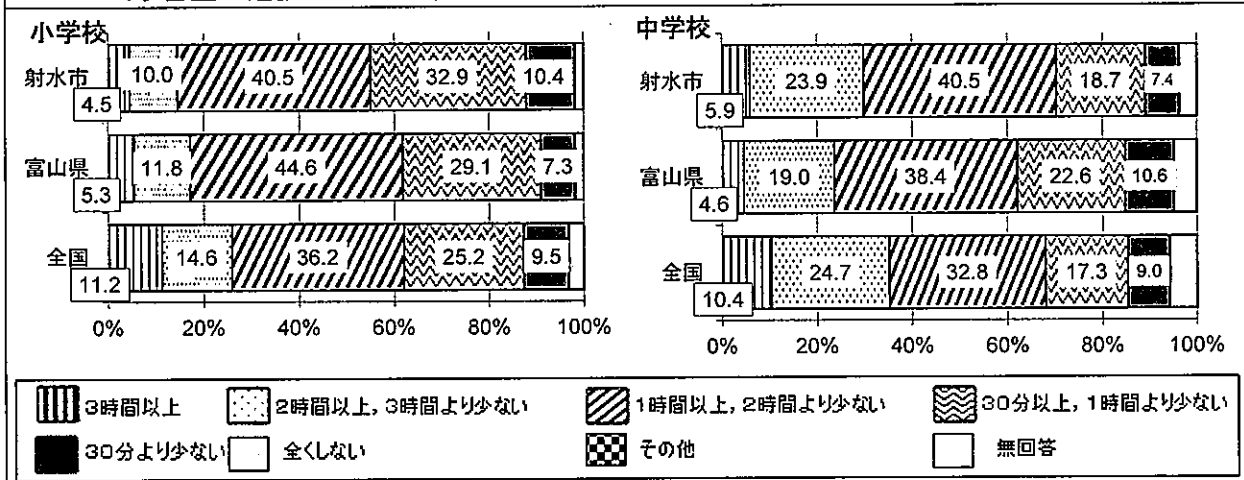
Q5 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。



【考察】小学校で「普段（月～金曜日）の1日当たりのゲームをする時間が1時間以上」の児童の割合は、全国平均とほぼ同程度であり、県平均より1.1ポイント高い。中学校で「普段（月～金曜日）の1日当たりのゲームをする時間が1時間以上」の生徒の割合についても、全国平均、県平均ともにやや高い。小中学校ともに1時間以上ゲームをしている割合が高い傾向があり、家庭での生活習慣の改善に向けた取組をしていく必要がある。

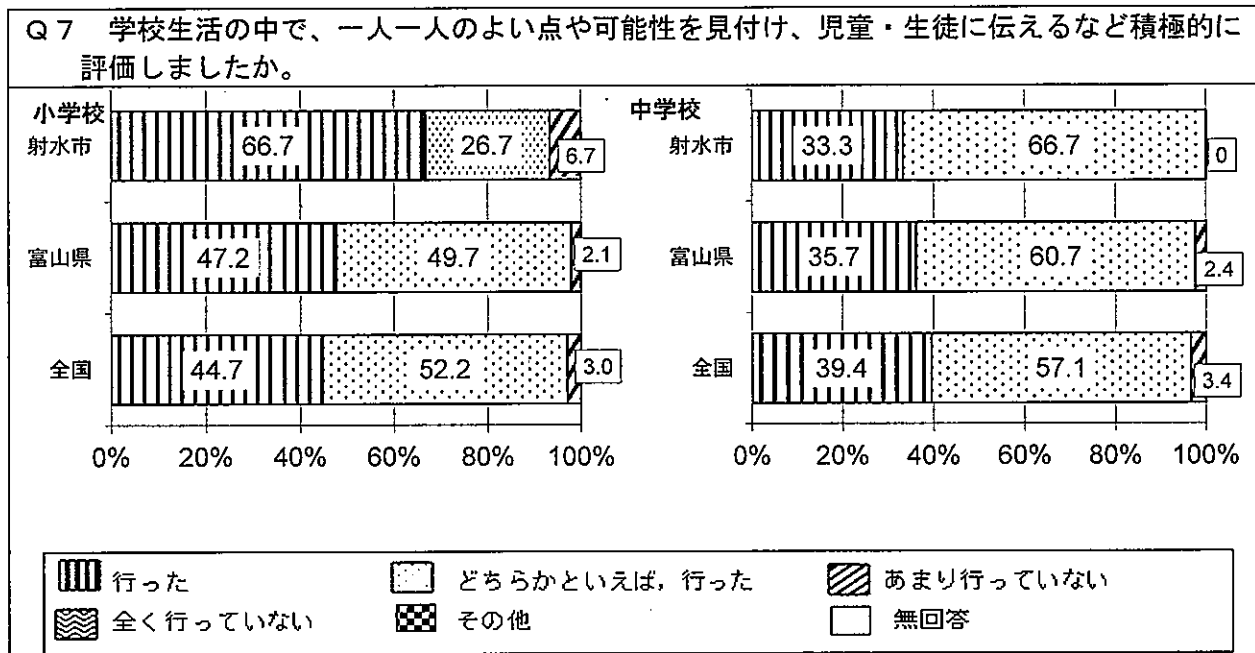
【家庭学習】（児童生徒質問紙より）

Q6 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む）。



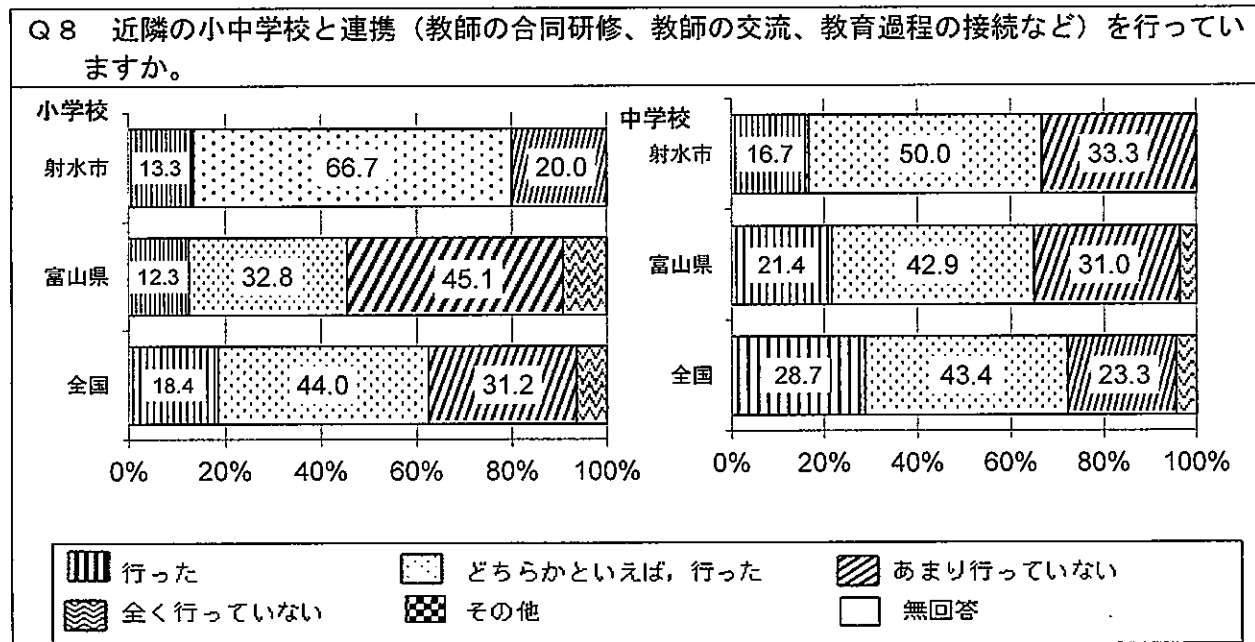
【考察】小学校で「1時間以上」の児童の割合は、全国平均より7.0ポイント低く、県平均についても6.7ポイント低い。「2時間以上」の児童の割合は、全国平均より11.3ポイント低く、県平均よりも2.6ポイント低い。さらに、「1時間未満」の児童の割合は、全国平均より7.1ポイント高く、県平均についても6.8ポイント高く、指導が必要である。一方、中学校で「1時間以上」の生徒の割合は、全国平均より2.4ポイント高く、県平均よりも8.3ポイント高い。しかし、「2時間以上」の生徒の割合は、県平均より6.2ポイント高いものの全国平均より5.3ポイント低く、課題である。ただ、中学校では、「1時間未満」の生徒の割合が、全国平均より8.3ポイント低く、県平均についても2.4ポイント低い。
小中学校ともに、家庭学習の定着に向けて一層の改善を図っていく必要がある。

【児童・生徒の状況】（学校質問紙より）



【考察】小学校で「行った」割合は、全国平均より 22.0 ポイントとかなり高く、県平均についても 19.5 ポイント高い。中学校では「行った」「どちらかといえば行った」割合は 100 ポイントに達した。小中学校ともに全国、県平均より高くなっており、意図的にほめたり認めたりする機会を増やした結果、児童生徒の自尊感情の高まりにつながったと考えられる。

【小中連携】（学校質問紙より）



【考察】小学校で「行った」「どちらかといえば行った」割合はかなり高く、全国平均より 17.6 ポイント、県平均についても 34.9 ポイント高い。一方、中学校で「行った」「どちらかといえば行った」割合は、全国平均より 5.4 ポイント低いものの県平均よりも 2.4 ポイント高い。

本市では中学校区ごとの全教員参加型の合同研修を、昨年度より積極的に進めている。「全く行っていない」の割合が小中学校ともに 0 ポイントであったことに成果が見られ、今後も生徒指導上の情報交換に限らず学習指導での積極的な連携を推進していきたい。

4 今後の射水市の取組（案）

平成26年度の全国学力・学習状況調査の結果を受け、市教委では「射水市学力向上委員会」を設置し、各学校に対し以下のように重点的に取り組むべき事項を提示する。

- ① 基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得
- ② 活用（思考力・判断力・表現力等）する力の育成
- ③ 基本的生活習慣の確立・学習習慣の定着
- ④ 全ての児童生徒が分かる授業を目指した研修の充実

◇具体的方策

① 基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得

- ・有効な単元確認問題を市内各校で共有するとともに、「語彙の拡充を図る漢字練習」「確かめを習慣化する計算練習」等を行うための学習教材の開発を行う。
- ・射水市新入生テストを中学校入学時に行い、小学校の基礎的学習内容の定着の状況を検証し、今後の指導に生かす。
- ・小中教研学力調査等の結果を分析、活用し、授業改善を図るとともに、事後指導を徹底する。
- ・朝の学習、放課後、長期休業中等の時間を活用した補充的な学習サポート体制を確立し、内容を工夫する。
- ・つまづきやすい内容を明らかにし、繰り返し学習を行う。
- ・身に付けさせたい学習規律を明確にし、指導を徹底する。

② 活用（思考力・判断力・表現力等）する力の育成

- ・課題を解決するための教材開発を行う算数・数学の射水市教材開発チームを編成する。
- ・自分の考えをもつ、論理的に整理する、学習の成果の確認をするなど、目的を明確にしてノート等に「書く活動」を充実させる。
- ・全国学力調査問題を活用した「B 問題に挑戦 一学年別プリント集―」（県教委作成）や「授業アイデア例」（文科省作成）を、年間指導計画に位置付けて授業を実践する。

③ 基本的な生活習慣の確立・学習習慣の定着

- ・「家庭学習の手引き」や「家庭学習の仕方」等を利用した各校の優れた取組を集積、普及し、取組がより効果的になるようにする。
- ・射水市生徒指導協議会において、メディア使用時間のルール作りを検討し、各校で実践する。
- ・スポーツ少年団や中学校部活動の活動日、活動時間を、PTAと連携して改善していく。
- ・家庭との連携を図りながら、「早寝・早起き・朝ご飯」の指導を徹底する。
- ・小学校の家庭学習強化期間を中学校の定期考査に合わせるなど、保護者の協力のもと、家庭学習の習慣化を図る。

④ 全ての児童生徒が分かる授業を目指した研修の充実

- ・射水市マイスター教員を委嘱し、授業や指導の技術を市内教員に広める。
- ・授業の達人、授業力向上推進リーダー等の公開授業や他校の研修会に、市内教員がオープンに参加できるシステムをつくる。
- ・全国学力調査の分析、活用についての研修会を実施し、各校が授業改善や生活習慣の改善に向けて取り組めるようにする。
- ・教科調査官等を招聘し、全ての児童が分かる授業づくり、全国学力・学習状況調査を生かした授業づくり等に関する悉皆研修を行う。
- ・全ての中学校区で小中連携合同研修会を実施し、学習における課題について共通理解したり情報交換したりする。
- ・各校で互見授業の期間を定期的に設定するなど、日常的な実践の中で教員の授業力向上を図る。
- ・「学級診断尺度調査（Q-U）」を実施し、活用方法についての研修を全教員が行うことで、望ましい学級集団をつくる。
- ・学期ごとに、児童生徒が各教員の授業について評価を行い、教員一人一人の授業改善に役立てる。

カニ学校給食の実施について

1 概要

新湊漁業協同組合から、市内の小学校6年生949人に一人一杯のベニズワイガニが提供されるもの。

2 趣旨

児童に、地元の特産品であるベニズワイガニを味わってもらい、地域の自然や食文化に関する理解を深めてもらうことで、食育の推進を図る。

また、特色ある給食として県内外に情報発信することで、射水市の特産品であるベニズワイガニの知名度アップを図るとともに地産地消を推進する。

3 セレモニーの日時及び場所

日 時 平成26年10月8日(水) 午後0時から
場 所 作道小学校 6年1組(22人)

4 出席者

射水市

市長 夏野 元志
教育委員長 眞岸 潤子
作道小学校校長 高田 昭彦

新湊漁業協同組合

代表理事組合長 尾山 春枝
参事 野積 宏彰

5 日程等

- ① 市長あいさつ
- ② 尾山新湊漁協代表理事組合長あいさつ
- ③ 児童代表から感謝の言葉
- ④ ベニズワイガニの生態系や漁法、食べ方等の説明(新湊漁業協同組合)
- ⑤ 出席者を交えてカニを賞味

6 その他

- ・他の小学校14校については、11月7日までに順次実施する予定。
- ・カニ学校給食は、平成15年度から旧新湊市内の小学校で実施され、平成18年度からは射水市内の小学校へ拡大しています。

指定管理者の募集について

次の施設の指定管理者を募集します。指定管理の開始は平成27年4月からです。

募集施設

	施設名	所在地
1	新湊中央文化会館 (高周波文化ホール)	射水市三日曾根3番23号
2	中央公民館	射水市三日曾根3番23号
3	小杉文化ホール (アイザック小杉文化ホール)	射水市戸破1500番地
4	大島絵本館	射水市鳥取50番地
5	サン・ビレッジ新湊	射水市有磯一丁目6番地1
6	海竜スポーツランド	射水市海竜町29番地
7	新湊総合体育館 (新湊アイシン軽金属スポーツセンター) 新湊テニスコート	射水市久々湊467番地
8	小杉総合体育センター (アルビス小杉総合体育センター)	射水市戸破3111番地
9	小杉体育館	射水市黒河712番地
10	小杉勤労青少年ホーム	射水市黒河711番地
11	大門総合体育館	射水市二口3142番地
12	大島体育館 (ヨシダ大島体育館)	射水市新開発300番地
13	下村体育館 下村グラウンド 下村テニスコート	射水市加茂中部843番地
14	下村パークゴルフ場	射水市加茂中部569番地
15	下村馬事公園	射水市加茂中部638番地

「放生津八幡宮祭の曳山行事」富山県無形民俗文化財の指定について

1 答 申

平成26年8月29日開催された富山県文化財保護審議会において、「放生津八幡宮祭の曳山行事」を富山県無形民俗文化財へ指定するよう、富山県教育委員会に答申されました。

2 指定概要

種 別	無形民俗文化財
名 称	放生津八幡宮祭の曳山行事
所 在 地	射水市 立町・中央町・八幡町・放生津町・本町・港町
保 存 団 体	新湊曳山協議会
行事の概要	毎年10月1日、放生津八幡宮秋季祭礼において行われる曳山行事で、県内最多の13基の曳山が旧新湊市街地一円を巡行する。

3 今後の日程（予定）

- ・平成26年9月30日 富山県教育委員会定例会において指定の議決
- ・平成26年10月1日 富山県教育長より新湊曳山協議会へ指定書を手交
(午前10時から県教育委員会室において)
県報告示

【参 考】

○放生津八幡宮の築山行事

富山県指定無形民俗文化財 昭和57年1月18日指定

○放生津八幡宮祭り曳山車

射水市指定有形民俗文化財 昭和43年9月30日指定

富山マラソン2015プレイベント 射水海王丸マラソン2014 取組状況について

開催日 平成26年9月28日(日) 雨天決行
 スタート・ゴール 海王丸パーク
 開会式 午前8時30分 海王丸パークシェルステージ
 激励の言葉 富山県知事・市議会議長

種目及びスタート時間

種目	スタート	スターター
種目・2km	午前9時	射水市長
・ハーフマラソン(約21km)	午前9時30分	教育長
車いすランナー	午前9時40分	市陸上競技協会会長
・10km	午前9時45分	北日本新聞
・3km	午前10時	北日本放送

参加者数

種目	種別		人数	うち	うち	種目別人数
				車いす	高校生	
ハーフ	①	18~34歳男子	304	2		1,668
	②	35~49歳男子	622	1		
	③	50歳以上男子	399	2		
	④	18~34歳女子	108			
	⑤	35~49歳女子	152			
	⑥	50歳以上女子	83	1		
10km	⑦	一般男子	296		8	460
	⑧	一般女子	164		6	
3km	⑨	一般男子	101		3	451
	⑩	一般女子	125		7	
	⑪	中学男子	139			
	⑫	中学女子	86			
2km	⑬	小学生男子	111			453
	⑭	小学生女子	92			
	⑮	ファミリー	125組 250			
計			3,032人			

県外参加者 278人

富山マラソン2015 プレイベント

- 射水海王丸マラソン応援隊 NPO法人 新湊カモンスポーツクラブ
 - 海王丸パークシェルステージ 水越 結花(射水市出身シンガーソングライター) 応援歌披露
 - 越中大島太鼓 10人
 - 新湊大橋東側 富山チアリーディング 45人
 - 新湊漁港駐車場 カモンダンスチーム 30人
 - (Naughty Rulers, Hi beats, Jack Pot, SWANK)
 - 川の駅新湊 カモン新体操ガールズ 20人
 - 石丸緑地公園 カモン空手チーム 15人
- 選手応援のぼり旗 市内小・中学校21校で制作 合計47枚 コース上に設置
- 沿道応援 新湊の応援名物「はたき」で応援(コース沿道の地域振興会)
 - 放生津・新湊・片口・堀岡 各250本 七美 50本 計1,050本

平成 26 年 10 月の主な行事予定

資料 8

日 曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1	水				
2	木 19:00	アルピス小杉総合体育センター	国民体育大会・全国障害者スポーツ大会射水市出場者激励会	生涯学習・スポーツ課	
3	金 19:30	下庁舎201会議室	新成人代表者会 第1回目	生涯学習・スポーツ課	
4	土 18:30	高周波文化ホール	郷ひろみコンサートツアー2014“Never End”	新湊中央文化会館	
5	日	右記小学校	学習発表会(歌の森、中太閤山小学校)	学校教育課	
6	月 9:00	陶房匠の里	陶友会会員展 10/13日迄	陶房匠の里	
7	火				
8	水				
9	木	19:00 アイザック小杉文化ホール	大谷廉子 & ショトゥットガルト室内管弦楽団	小杉文化ホール	
		京都市教育委員会ほか	富山県市町村教育長会研修会 10/10迄	学校教育課	教育長
10	金				
11	土	8:30 小杉パークゴルフクラブ	第13回ミズノカップ全国パークゴルフ選手権大会(～12日)	生涯学習・スポーツ課	
		10:00 中央公民館	第2回家庭教育支援講座	生涯学習・スポーツ課	
		13:30 大島庁舎	ふるさと学習講座第3回	生涯学習・スポーツ課	
		14:00 大門総合会館	大門ホールシネマ上映会「やなせたかしシアター」	大門総合会館	
		大島小学校	学習発表会	学校教育課	
12	日	15:00 アイザック小杉文化ホール	レ・フレール “Quatre in TOYAMA”	富山新聞社／(公財)射水市文化振興財団共催	
		放生津小学校	学習発表会	学校教育課	
13	月 10:00	小杉体育館、大門総合体育館	体力測定会	生涯学習・スポーツ課	
14	火				
15	水 9:30	高周波文化ホール	第9回射水市展 10/19迄	射水市展運営委員会	
16	木 13:30	南砺市	市町村教育委員会連合会第2回研修会	学校教育課	○
17	金 19:30	下村体育館	体力測定会	生涯学習・スポーツ課	
18	土 14:00	大門総合会館	大門ホールシネマ上映会「黒部の太陽」	大門総合会館	
19	日	10:00 竹内源造記念館	第2回本格銭絵教室①	生涯学習・スポーツ課	
		15:00 高周波文化ホール	第9回射水市展表彰式	射水市展運営委員会	○
		右記小学校	学習発表会(片口、堀岡、東明、大門小学校)	学校教育課	
20	月				
21	火				
22	水				
23	木 13:30	下庁舎201会議室	第3回射水市教育振興基本計画策定懇話会	学校教育課	教育長
24	金				
25	土 13:30	アイザック小杉文化ホール	こすぎ童謡フェスティバル	小杉文化ホール	
26	日	10:00 ヨシダ大島体育館	体力測定会	生涯学習・スポーツ課	
		10:00 竹内源造記念館	第2回本格銭絵教室②	生涯学習・スポーツ課	
		14:00 大門総合会館	三遊亭小遊三・遊馬 親子会 ナイツも出るよ!	大門総合会館	
		右記小学校	学習発表会(小杉、金山、太閤山、下村小学校)	学校教育課	
		右記中学校	文化活動発表会(新湊、新湊南部、射北、大門中学校)	学校教育課	
27	月				
28	火				
29	水				
30	木	兵庫県姫路市	射水市教育委員会行政視察 10/31迄	学校教育課	○
31	金				

展示等

自	至	場所	展示名	自	至	場所	展示名
9/13	11/24	新湊博物館	高越 甚展				
10/17	10/23	小杉展示館	陶芸教室作品展				
10/17	10/29	陶房「匠の里」	越中瀬戸千寿窯 吉野香岳展				
10/25	10/30	小杉展示館	小杉東部保育園作品展				

平成 26 年 11 月の主な行事予定

日 曜	時間	場 所	行 事 予 定	主務・関連課	教育委員出席
1 土					
2 日	10:00	竹内源造記念館	第2回本格鰻絵教室③	生涯学習・スポーツ課	
		右記中学校	文化活動発表会(小杉、小杉南中学校)	学校教育課	
3 月	19:00	アイザック小杉文化ホール	大谷康子 & シュトゥットガルト室内管弦楽団	小杉文化ホール	
4 火					
5 水					
6 木					
7 金					
8 土	11:00	小杉社会福祉会館	第32回富山県駅伝競走大会・小学生駅伝競走大会 射水市選手団結団式	生涯学習・スポーツ課/(公財)射水市体育協会	
9 日	10:15	富山市～高岡市	第32回富山県駅伝競走大会・小学生駅伝競走大会	生涯学習・スポーツ課/(公財)射水市体育協会	
10 月					
11 火	10:00	金山コミュニティセンター	じいちゃんばあちゃんの孫育て談義	生涯学習・スポーツ課	
12 水	①14:00 ②18:00	高周波文化ホール	松竹大歌舞伎	新湊中央文化会館	
13 木					
14 金	19:00	高周波文化ホール	立川志の輔独演会	(一社)射水市観光協会/新湊中央文化会館	
15 土					
16 日		アルビス小杉総合体育センター	第5回スポーツひのまるキッズ北信越小学生柔道大会	生涯学習・スポーツ課	
17 月					
18 火					
19 水					
20 木					
21 金					
22 土					
23 日	14:00	大島絵本館	おおしま手づくり絵本コンクール表彰式	大島絵本館	
		右記小学校	学習発表会(作道、塚原小学校)	学校教育課	
24 月					
25 火					
26 水	18:30	高周波文化ホール	黄昏にロマンス～ロディオンとリダの場合～	新湊中央文化会館	
27 木					
28 金					
29 土					
30 日		高周波文化ホール	生涯学習フェスティバル・作品展	生涯学習・スポーツ課	教育長

展示等

自	至	場所	展示名	自	至	場所	展示名
9/13	11/24	新湊博物館	高越 甚展				
11/1	11/9	小杉展示館	板の会作品展				
11/2	11/14	陶房「匠の里」	東福寺窯 住吉紀与志展				
11/12	11/19	小杉展示館	ひばり文化祭作品展				
11/19	11/30	陶房「匠の里」	八乙女窯 花嶋伊都子展				